建設発生土情報交換システム

1.目的

建設発生土情報交換システムは、国、地方公共団体等の工事発注者が建設発生土を有効活用するために必要な情報をリアルタイムで交換し、建設発生土のリサイクルを推進することを目的とした、インターネットを利用したシステムです。

2.サービス

建設発生土情報交換システム

発生土情報交換の場

- 工事情報、土量情報のデータベース化

工事発注者
（国・独立行政法人等・都道府県・市区町村）

- 工事情報の入力・検索
- 土質・時期・運搬距離等から最適な相手先工事を選定
- 地図上からも相手先候補工事が検索可能
- リサイクル率を簡単集計

工事間利用調整の実現

3.建設発生土情報交換システムの特長

- 発生土データをリアルタイムで掲載でき、情報の鮮度が高い
- 地図検索により発生土動向のニーズがひと目でわかる
- 公共工事土量調査でのデータ利用が容易になる

取り扱う情報
・工事発注者、工事概要、搬出・搬入土砂の土量、土質、発生時期等

4.利用状況（機関数）　令和6年3月末

国の機関	独立行政法人等	都道府県	政令指定都市	市区町村	その他	発注機関合計
19	5	32	9	147	8	220

東京都港区赤坂5丁目2番20号　赤坂パークビル14階
一般財団法人 日本建設情報総合センター
建設副産物情報センター
https://www.recycle.jacic.or.jp/
カスタマーセンター(発生土システム)
TEL 03-6261-4324

JACIC 一般財団法人 日本建設情報総合センター
2024.8